

第2次茨城県文化振興計画アクションプランに基づく施策の 取組状況について

(令和7年度第2回茨城県文化審議会資料)

目次・事業体系

I 人材の育成 … P 1

- (1) 文化の担い手の育成及び確保
- (2) 次世代を担う子どもたちの育成
- (3) 文化に関する教育の充実

II 文化の振興 … P 9

- (1) 芸術の振興
- (2) 伝統文化の継承及び発展
- (3) 生活文化等の振興
- (4) 文化を活用した地域づくり
- (5) 文化交流の推進

III 文化的資産の活用 … P 17

- (1) 文化的資産の活用
- (2) 文化財の保存等
- (3) 公共の建物等の建築に当たっての配慮

IV 文化活動の充実 … P 20

- (1) 県民の文化活動の充実
- (2) 高齢者・障害者等の文化活動の普及
- (3) 青少年の文化活動の普及

V 文化活動の支援体制の充実等 … P 26

- (1) 文化情報の収集及び提供
- (2) 推進体制の整備
- (3) 文化施設の機能の充実
- (4) 地域における文化活動の支援
- (5) 財政上の措置
- (6) 顕彰

【凡例】

- ・事業K P Iについては、原則として、政策的経費のみ記載している。
- ・事業K P Iの基準及び目標に係る時点は、第2次茨城県総合計画（R 4. 3月策定）の計画期間と整合している。

【事業の評価】

- | | | |
|---------|-------------|-------------------|
| ・ 目標達成度 | 1 0 0 %以上 | 「期待以上の成果」 |
| ・ | 8 0 ～ 9 9 % | 「概ね期待通りの成果」 |
| ・ | 5 0 ～ 7 9 % | 「期待した成果を下回っている」 |
| ・ | 5 0 %未満 | 「期待された成果があがっていない」 |

I 人材の育成

1 施策の方向

文化の担い手や次世代を担う子どもたちの育成とともに、文化に関する教育の充実を図る。

2 課題

本県文化の裾野を広げていくためには、柔軟で感受性の優れた年代の子どもたちをはじめ、多くの県民が、質の高い文化を鑑賞・体験する機会の充実を図る必要がある。

また、少子高齢化や過疎化が進む中、文化芸術活動の担い手の高齢化や後継者不足が懸念されており、芸術家や文化団体の活躍する場や発表の機会を提供するなど、文化の担い手を育成する機会の一層の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化の担い手の育成及び確保

事業名	事業内容	R6 年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①茨城県芸術祭★1 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:16,981 R7 当初:17,000	県民の優れた芸術創作活動の成果を発表・展示し、広く県民へこれらを鑑賞する機会を提供することにより、県民の文化に対する意識の醸成を図るとともに、心豊かで潤いのある生活を実現することができるよう芸術祭を開催する。	・期間 令和6年10月5日 ～令和7年1月12日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等 ・参加者数:5,465人 入場者数:22,564人 計28,029人 ※26 催事中1 催事が中止。	・期間:令和7年10月3日 ～令和7年12月14日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等	各団体が昨今の物価高騰の状況下においても、引き続き県芸術祭の各催事を実施できるよう、物価高騰対策に係る経費を含む17,000千円を補助額とする。

事業名	事業内容	R6 年度実績	R7 年度取組状況	今後の方針・方向性
②水戸室内管弦楽団メンバーによる器楽セミナー ★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:3,980 R7 当初:3,980	県内の高校生以上の楽器奏者を対象に、世界的な演奏家である水戸室内管弦楽団によるレッスンを実施し、演奏技術の向上を図る。さらに、レッスン終了後には、水戸芸術館等における成果発表コンサートを実施し、受講生の集客力向上及びモチベーション向上につなげるとともに、県民に質の高い演奏を鑑賞する機会を提供する。	管楽器アンサンブル・レッスン ・開催日:令和7年2月16日 ・場所:水戸芸術館 ・受講団体:3団体(19人) ・来場者数:293人 公開レッスン&ミニコンサート ・開催日:令和7年1月19日 ・場所:高正U&Iセンターホール(鹿嶋市) ・受講団体:2団体(67人) ・来場者数:286人	・開催日:令和8年1~2月 ・場所:水戸芸術館、坂東市民音楽ホール ・受講団体:県内の管打楽器奏者、 県内吹奏楽・オーケストラ団体 事業内で県内の高校生以上(中高一貫校は中学生を含む)の管打楽器奏者を対象とした管楽器アンサンブル・セミナーと吹奏楽・オーケストラ公開レッスン&ミニコンサートを実施。	管楽器アンサンブル・レッスンは普段貸館をしていない水戸芸術館で実施する。 吹奏楽・オーケストラ公開レッスン&ミニコンサートは5年間かけて県内5地域を巡回する計画であり、今年度は県西地域を中心に活動する団体を募集し、坂東市民音楽ホールで実施する。
③文化芸術体験出前講座★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:49,926 R7 当初:49,847	児童生徒をはじめとする県民が本格的な文化芸術に触れる機会を提供し、将来の担い手や鑑賞者を育成するとともに、若手演奏家や文化芸術活動団体等に活躍の場を提供する。また、文化芸術活動団体と学校及び市町村との連携・協力体制構築の促進を図る。	文化芸術体験出前講座 実施講座数:137講座 参加者数:21,709人 [学校枠]対象:小中高校及び特別支援学校 音楽97講座、美術16講座、 茶道6講座、華道7講座、 能楽5講座、食文化3講座 [一般枠]対象:一般県民 音楽3講座、	文化芸術体験出前講座 実施講座数:131講座 [学校枠]対象:小中高校及び特別支援学校 音楽95講座、美術13講座、 茶道5講座、華道6講座、 能楽4講座、食文化3講座 [一般枠]対象:一般県民 音楽5講座	児童や生徒を対象に県内各地の学校で出前講座を実施するとともに、広く県民を対象として公立文化施設等においても文化芸術の鑑賞・体験機会を提供することで、引き続き受講対象の拡大を図る。
④新人演奏会 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:1,843 R7 当初:2,000	本県出身等の新人演奏家に発表の機会を提供して演奏技術の向上を図り、もって地域音楽活動の指導者育成及び本県の音楽文化の振興・向上に資する。	第50回茨城県新人演奏会 期日:令和6年6月16日(オーディション) 令和6年9月29日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション参加者数:38名 本演奏会出演者数:16名 新人賞2名、奨励賞1名	第51回茨城県新人演奏会 期日:令和7年6月15日(オーディション) 令和7年9月28日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション応募者数:46名 本演奏会出演者数: - 名 (オーディション合格者)	オーディション参加者を増加させるため、応募条件の見直しを進めるほか、本演奏会に出演する本県ゆかりの演奏家の活躍を広く県民に発信することを目的として、引き続き積極的な広報活動を行う。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤民俗文化財活性促進事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:25,198 R7 当初:25,391	歴史的・文化的価値を有する「おまつり」への支援や、民俗芸能等の映像の収集・公開などにより、民俗文化財の活性化を図り、後世に継承していく。	1 民俗文化財(おまつり)への補助 ・対象:有識者委員会で選定されたおまつり 5件 ・補助額:運営経費 5,000 千円(上限)/件 2 いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス 県内民俗芸能の映像の収集及び動画共有サービス(YouTube)を活用した公開 ・公開:12 件 ・視聴数:約 2,100 回(年間) 3 関東ブロック民俗芸能大会への出演 「潮来ばやし」(潮来市)が出演 ・期日:令和6年 10 月 6 日(日) ・会場:静岡県静岡市	1 民俗文化財(おまつり)への補助 ・対象 無形民俗文化財を構成要素とするおまつりのうち、歴史的・文化的価値、規模等から、有識者委員会(茨城県民俗文化財活性化検討委員会)が選定した5件(※) ※日立さくらまつり、石岡のおまつり、常陸大津の御船祭(北茨城市)、潮来祇園祭禮、みなと八朔まつり(ひたちなか市) ・補助額:運営経費 5,000 千円(上限)/件 2 いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス 市町村等に、映像の提供や新規映像収録を依頼し、収集した映像を動画共有サービス(YouTube)で公開 ・対象:国・県・市町村指定等の民俗文化財 約 250 件	歴史的・文化的価値を有する「おまつり」への支援や、民俗芸能等の映像の収集・公開などにより、民俗文化財についての理解促進と保存意識の高揚、後継者の養成促進等を図り、本県の民俗文化財を後世に継承していく。
⑥茨城県子ども伝統文化フェスティバル★4 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:— R7 当初:—	伝統文化活動を行う子どもや大人に日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、発表する子どもたちの意欲向上、観覧する県民への興味喚起を図る。 ※伝統文化総合支援事業の中で実施(17 ページ参照)	[土浦市] ・開催日:令和6年 10 月 20 日 ・会場:イオンモール土浦 ・参加団体数:9 団体、来場者数:1125 人 [水戸市] ・開催日:令和 6 年 11 月 10 日 ・会場:県立歴史館 ・参加団体数:11 団体、来場者数:950 人	[つくば市] ・開催日:令和7年 10 月～11 月 ・会場:イーアスつくば(未確定) ・参加団体数:10 団体程度 [水戸市] ・開催日:令和 7 年 11 月 ・会場:県立歴史館 ・参加団体数:10 団体程度	子どもたちにとっての発表の場を創出するとともに、多くの県民が伝統文化団体の活動に触れる機会を提供する。 また、令和5年度より開催規模を拡大し、20 団体程度の出演とする。

(2) 次世代を担う子どもたちの育成

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①近代美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:30,797 R7 当初:33,126	県民の美術への親しみや関心を深めるため、普及活動を積極的に実施する。	1 内容 ・美術資料の収集、整備・美術普及資料の収集を行った。 ・美術に関する知識の普及、関心の高揚を目指した活動を行った。 ・県民に親しまれる美術館づくりの促進活動を行った。 2 利用者数 59,852 人	・美術に関する知識の普及、関心の高揚を図るため、美術講演・講座などのイベントを開催する。 ・県民に親しまれる美術館づくりの促進のため、教育普及アートバス事業など、学校・地域との連携を進めていく。	・対話型美術鑑賞教育の推進及びファシリテーターとしてのボランティアの育成。 ・大学・高校・小中学校との連携。
②天心記念五浦美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:3,647 R7 当初:3,647	県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 内容 ・学校・地域との教育連携事業の促進を行った。 ・岡倉天心記念室ガイドツアーを実施した。 ・美術講演・講座等を開催した。 2 利用者数 22,243 人	・学校・地域との教育連携事業の促進を図る。 ・岡倉天心記念室ガイドツアーを実施する。 ・美術講演・講座等を開催する。	・美術館に来ることが人生の一部となるような、多くの人に参加しやすいイベント実施を計画する。 ・日本画をはじめ伝統的美術・技法を体験できる講座やワークショップを計画する。 ・関連市町村や教育機関等と協働した館外イベントの実施
③陶芸美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:5,403 R7 当初:6,051	県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 内容 ・学校・地域との教育連携活動を実施した。 ・美術講演・講座等を開催した。 ・陶芸体験セットの学校への貸出を行った。 2 利用者数 72,337 人	・学校・地域との教育連携活動を実施する。 ・美術講演・講座を開催する。 ・陶芸体験セットの貸出を行う。	・電子媒体を利用した積極的な広報活動を展開する。 ・近隣高校との連携を進めていく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
④自然博物館教育 普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:2,762 R7 当初:4,251	体験型の教育普及事業を実施し、自然への興味関心を高めるとともに、博物館活動の理解を深める。	1 内容 ・移動博物館、講師派遣を開催した。 ・ジュニア学芸員育成事業を実施した。 ・自然についての関心を深めるイベント(自然ラボ、サイエンストーク、サンデーサイエンス)等を開催した。 2 利用者数 20,980 人	・自然講座、自然観察会、体験教室等を開催する。 ・移動博物館を開催する。 ・ジュニア学芸員育成事業を実施する。 ・自然についての関心を深めるイベント(自然ラボ、サイエンストーク、サンデーサイエンス)等を開催する。	・ボランティアの育成や、活動の場の提供・支援を進めていく。 ・学校及び社会教育施設等へのアウトリーチの取組を進めていく。 ・ボランティアの育成や、活動の場の提供・支援を進めていく。

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)
- ・子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)

(3) 文化に関する教育の充実

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①茨城県高等学校 総合文化祭開催 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:2,772 R7 当初:2,772	高校生に美術、音楽及び演劇などの芸術文化活動の機会を提供し創造活動の向上を図る。	1 期間 令和6年 10 月 23 日～11 月 22 日 2 場所 ザ・ヒロサワ・シティ会館等 3 種目 美術展覧会、演劇祭、音楽会 4 入場者 延べ 6,190 人	1 期間 令和7年 10 月 23 日～11 月 16 日 2 場所 ザ・ヒロサワ・シティ会館等 3 種目 美術展覧会、演劇祭、音楽会	・引き続き、発表と交流の場を提供することで、学校における文化芸術活動を推進する。
②茨城県小中学校 芸術祭開催 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:1,146 R7 当初:1,245	小中学生の創造性を高め、豊かな情操を培うため、学校教育との連携を図りながら、美術展を開催する。	1 期間 令和6年 11 月 22 日～26 日 2 場所 ザ・ヒロサワ・シティ会館 3 種目 美術展覧会 4 入場者 7,337 人	1 期間 令和7年 12 月 12 日～16 日 2 場所 ザ・ヒロサワ・シティ会館 3 種目 美術展覧会	・県教育研究会、県特別支援学校教育研究会と連携を図りながら、効果的、効率的な芸術祭の開催に努める。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
③いばらきっ子郷土 検定事業 (生涯学習課) 決算額等(千円) R6 決算:2,387 R7 当初:2,647	中学2年生を対象に茨城県独自の郷土検定を行い、子どもたちが楽しみながら本県の伝統や文化を学ぶことにより、子どもたちの郷土への愛着心や誇りに思う気持ちを育む。	1 市町村大会 ・開催期間:令和6年11月 ・参加校数:234校 ・参加者数:21,280人 2 県大会 ・日時:令和7年2月1日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館 ・出場校数:45校(市町村代表44校、国・県・私立代表校1校) 3 ウェブサイト ・一般県民も利用可能な検定サイト ・アクセス数:105,255件 4 郷土検定ドリル ・個人学習に最適な各種機能付きドリル ・アクセス数:41,811件	1 市町村大会 ・開催期間:令和7年11月 ・参加校数:約230校 ・参加者数:約20,000人 2 県大会 ・開催日:令和8年2月7日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館 ・出場校数:45校(市町村代表44校、国・県・私立代表校1校) 3 ウェブサイト ・一般県民も利用可能な検定サイト 4 郷土検定ドリル ・個人学習に最適な各種機能付きドリル	一人一人の教育的ニーズや理解度に応じた、自主的かつ継続的な郷土学習を可能にする「郷土検定ウェブサイト」や「郷土検定ドリル」の活用を推進する。
④副読本を活用した 小中学校での地域の 歴史や文化学習 (義務教育課) 決算額等(千円) R6 決算:－ R7 当初:－	学習指導要領に基づき、各市町村において、身近な地域の歴史、特色ある伝統や文化等を取上げた副読本を作成し、社会科の授業等で活用している。	主に小学校3年生、4年生における社会科の授業で活用 ・44/44 市町村	主に小学校3年生、4年生における社会科の授業で活用 ・44/44 市町村	各市町村において、定期的に副読本の改訂が行われており、身近な地域の歴史や文化の学習における中心資料として、社会科の授業等で活用していく。

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・自然博物館美術普及事業(文化課)

4 事業KPI

(1)「県芸術祭の参加者数」(単位:人) ★1 目標達成度【概ね期待通りの成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	26,000	35,000	36,000	37,000
実績値	16,824	26,311	32,210	28,029	
達成率	—	101.2%	92.0%	77.8%	

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ I (1)① 茨城県芸術祭

(2)「関連事業の参加者数」(単位:人) ★2 目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	11,000	13,000	13,000	13,000
実績値	9,574	14,888	13,799	22,288	
達成率	—	135.3%	106.1%	171.4%	

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ I (1)② 水戸室内管弦楽団メンバーによる楽器セミナー
- ・ I (1)③ 文化芸術体験出前講座

5 事業の評価

県芸術祭については、各団体が昨今の物価高騰の状況下においても、引き続き県芸術祭の各催事を実施できるよう、物価高騰対策に係る経費を含む 17,000 千円を補助額とした。県芸術祭の参加者数については、催事の中止や会場の変更等の要因が重なり、令和 5 年度の参加者数を下回る 28,029 人の参加にとどまり、「県芸術祭の参加者数」の達成率は 77.8%と、目標達成度は「期待した成果を下回っている」となった。

関連事業の器楽セミナーについては、令和 4 年度から 5 年間かけて県内各地域（県央・県南・県北・鹿行・県西）を巡回して音楽団体に公開レッスンを実施しており、令和 6 年度は鹿行地域（鹿嶋市）で公開レッスンを実施した。文化芸術体験出前講座については、令和 5 年度の 117 講座から 137 講座に講座数を拡大し、より幅広い地域や場所での事業実施に取り組んだ。関連事業の参加者数については、達成率が 171.4%と目標値を上回り、目標達成度は「期待以上の成果」となった。

6 今後の展開・方向性

県民に文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供し、芸術家等の活動機会の確保と、担い手の育成に努めていく。また、文化芸術は人格や感性を育むものであることから、学校や文化団体等との連携を図りながら、子どもの頃から文化に触れる機会を提供し、その後の鑑賞・体験の習慣化に繋げていく。

Ⅱ 文化の振興

1 施策の方向

茨城の文化を高め、その魅力を国内外に発信し、本県文化のブランド力を確立する。また、新たな文化を創造し、地域の活性化を図る。

2 課題

文化芸術の振興にあたっては、各文化団体の自主性や創造性を尊重しつつ、優れた創作活動に対して効果的な支援を行っていく必要がある。

また、広く県民に認知されていない伝統文化もあることから、それらの掘り起こしを行いながら、発表の場の提供や魅力発信など、支援の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 芸術の振興

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①各文化活動への後援 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:- R7 当初:-	県以外の者が主催して行う催事等で文化振興に寄与するものについて、県が後援していることを広く県民に知らせることによって、催事等に信用を付与するとともに文化意識の高揚を図り、文化の振興を促進する。	後援承認件数:130 件	後援承認件数:35件 (R7 年 6 月末現在)	—
②県民文化センター管理委託 (生活文化課)★3 決算額等(千円) R6 決算:181,077 R7 当初:180,415	県民の文化芸術活動を支える拠点施設として、本県の文化芸術の振興と県民教養の高揚を推進していく。	・利用者数:273,650 人 ・鑑賞事業:池辺晋一郎&N 響団友オーケストラ等 27 事業 入場者数 15,237 人 ・備品購入:展示棟 AED など ・修繕工事:小ホール・展示室系統空調設備改修など	・鑑賞事業: ・備品購入:大ホール AED など ・修繕工事: エレベーター改修など	指定管理者である県民文化センター運営共同事業体とともに、施設の利用促進に努め、更なる利用者の増加を図る。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
③陶芸美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算: 4,118 R7 当初: 4,221	人間国宝・文化勲章受章者等の作品をはじめ、日本近現代陶芸の全貌を通観できるよう、優れた美術資料の継続的な購入を進める。	次のとおり美術作品を購入した。 ・工芸 小池頌子(陶器) ほかに31件	収蔵品の充実を図るべく、工芸作品を購入予定。	引き続き、事業計画どおり実施
④近代美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:4,856 R7 当初:－ (R7 から企画展費に統合)	常設展示室において、それぞれ所蔵作品をテーマに応じて展示する。	所蔵作品の中から日本近代美術の秀作を選び、近代美術館で4期展示公開した。	所蔵作品の中から近代美術の秀作を選び、近代美術館で5期展示する。	引き続き、テーマに応じた展示を実施していく。
⑤近代美術館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:47,710 R7 当初:51,648	企画展示室において、企画展を開催する。	1 内容 日本画、絵本原画、近現代絵画等の企画展 「つくる展 TASKO ファクトリーのひらめきをかたちに」 外4件 2 入館者数 66,592人	1 内容 日本画(浮世絵含む)、絵本原画、近代洋画、西洋美術等の企画展 「アーツ・アンド・クラフツとデザイン」 外3件	予算のバランスを鑑みつつ、バリエーションに富み、多くの入場者が期待できそうな内容の企画展を計画していく。
⑥陶芸美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:4,357 R7 当初:－ (R7 から企画展費に統合)	1 コレクション展 「近現代日本陶芸の展開」をテーマに、所蔵品を中心に展示しているほか、板谷波山と松井康成については、特集展示コーナーで紹介。 2 テーマ展 現在活躍中の陶芸家の作品を中心に展示紹介する。	【第1展示室】 コレクション展Ⅰ・新収蔵品展 外1件 【第2展示室】 コレクション展Ⅰ・新収蔵品展 外2件	【第1展示室】 コレクション展Ⅱ・Ⅲ 外1件 【第2展示室】 テーマ展 新収蔵品展 外1件	展示解説員によるギャラリートークを実施していく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
⑦陶芸美術館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:26,375 R7 当初:31,065	企画展示室において、企画展等を開催する。	1 内容 国内外の優れた陶芸作品や工芸美術の企画展 「魯山人クロッシング」 外4件 2 入館者 38,700 人	1 内容 国内外の優れた陶芸作品や工芸美術の企画展 「岐阜県現代陶芸美術館コレクション ティーカップ・メリーゴーラウンド ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン 100 年」 外2件	積極的な作家調査を行い、最新の情報を取り入れ展覧会開催に活かしていく。
⑧フィルムコミッション 推進事業 (観光誘客課) 決算額等(千円) R6 決算:23,148 R7 当初:36,033	・ロケ誘致 ・ロケ支援 ・ロケツーリズムの推進	1 県内撮影支援作品数:600 作品※ 2 県内撮影日数:1,311 日※ 3 ロケ地マップ Vol.18 の発行 4 映像関係事業者と連携した本県 PR 企画の実施 ・映画『はたらく細胞』企画展の開催 (R6.12.13～R7.1.31、県内 5 ヶ所で開催) ※R5 年度実績 5 海外の映像作品誘致に向けた茨城ロケ地プロモーションとして東京国際映画祭への出展	1 ロケ地マップ Vol.19 の発行 2 ロケ地での特別な体験イベントの開催 3 映像関係事業者と連携した本県 PR 企画の実施 ・本県で撮影した映画の公開に合わせロケ地の市町村と共同で、企画展を開催 4 世界公開作品等の誘致に向けた茨城ロケ地プロモーション及び制作支援	引き続きロケの誘致・支援を行うとともに、支援作品を活用した本県 PR 及び観光誘客に行う。

【再掲】

・茨城県芸術祭(生活文化課)

(2) 伝統文化の継承及び発展

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①伝統文化総合支援 事業★4 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:7,920 R7 当初:8,000	県内各地で行われている伝統的な行事や民俗芸能などの伝統文化について、その継承等に取り組む伝統文化団体への発表機会の提供や情報発信の支援等を行う。	・伝統文化団体と催事主催者のマッチング(17 団体) ・担い手募集サイトでの情報発信(5 団体) ・茨城県子ども伝統文化フェスティバル(20 団体)	・伝統文化団体と催事主催者のマッチング ・担い手募集サイトでの情報発信 ・茨城県子ども伝統文化フェスティバル(年2回)	伝統文化団体が抱える「担い手不足」や「発表機会の確保」の課題を解決するため、ウェブサイト等を活用した後継者募集や、イベント主催者と伝統文化団体の仲介に取り組む。また、茨城県子ども伝統文化フェスティバルを開催する。

【再掲】

- ・茨城県子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)
- ・民俗文化財活性促進事業(文化課)

(3) 生活文化等の振興

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①「茨城をたべよう」県 産品販売・PR促進事 業 (販売戦略課) 決算額等(千円) R6 決算:3,500 R7 当初:3,500	県内において進めてきた地産 地消の活動から取組を拡充し、 生産者、事業者、消費者等が 一致協力して県産農林水産物 の利用を促進するとともに、県 産農林水産物の魅力を広く発 信し、県内外における認知向 上と消費拡大を図ることを目的 とする。 ※「茨城をたべよう運動推進協 議会」は、令和3年度から「いば らき食の魅力発信協議会」へ改 組した。	1 県内外への県産農林水産物の PR ・「茨城をたべよう」シンボルマーク及びノベルティ グッズを活用した PR ・市町村等が実施する農林水産物関連イベント 情報の「いばらき食と農のポータルサイト」への 掲載、ノベルティグッズの提供等 ・県内全小学 5 年生に対し、主要農産物を紹介 するクリアファイルを配布・「いばらき食と農のポ ータルサイト」やメディアを活用した PR ・協議会会員と連携した各種イベントにおける PR ・茨城をたべよう収穫祭における PR 2 協議会会員相互の連携・交流促進 ・協議会会員と連携した各種イベントへの出展 ・協議会会員相互の連携を目的としたマッチング 事業の実施 ・「いばらき食と農のポータルサイト」の協議会ペ ージの活用	1 県内外への県産農林水産物の PR ・「茨城をたべよう」シンボルマーク及びノベルティ グッズを活用した PR (協議会会員へのフラッグ・のぼり、ノベルティグッ ズ等の配布) ・市町村等が実施する農林水産物関連イベント情 報の「いばらき食と農のポータルサイト」への掲 載、ノベルティグッズの提供等 ・県内小学 5 年生に対し、主要農産物を紹介する クリアファイルを配布 2 協議会会員相互の連携・交流促進 ・協議会会員と連携した各種イベントへの出展(会 員の活動促進)・協議会会員相互のマッチング (県産農林水産物を使用した商品の共同開発支 援等) ・「いばらき食と農のポータルサイト」の協議会ペ ージの活用(会員の連携強化)	協議会会員同士の連携、交流促 進(マッチング)を積極的に図っ ていき、会員になることのメリッ トを強調していきたいと考えてい る。

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)
- ・食生活改善地区組織育成・強化推進事業(活動支援・リーダー育成)(健康推進課)

(4) 文化を活用した地域づくり

事業名	事業内容	R6 年度実績	R7 年度取組状況	今後の方針・方向性
①アーカスプロジェクト 推進事業 (地域振興課) 決算額等(千円) R6 決算:9,146 R7 当初:8,546	海外からアーティストを招き、 滞在中の制作活動を支援する「アーティスト・イン・レジデンスプログラム」や、県民が身近に芸術を体験できる「ラーニングプログラム」などを通じ、芸術を活かした創造性豊かな地域づくりと本県のイメージアップを図る。	1 公募によるアーティスト・イン・レジデンス 招聘アーティスト:3組 招聘期間:8月30日～11月27日(90日間) 2 短期のアーティスト・イン・レジデンス 招聘アーティスト:8組 活動期間:6月7日～7月6日(30日間) 7月10日～8月8日(30日間) 1月16日～2月14日(30日間) 3 ラーニングプログラム ワークショップ等:4回 全事業参加者数:647人	1 公募によるレジデンスプログラム 招聘アーティスト:3組 招聘期間:8月下旬～11月下旬 2 短期のアーティスト・イン・レジデンス 招聘アーティスト:11組(夏5組、短期3組、冬3組) 3 ラーニングプログラム ワークショップ等の開催 4 記録集作成 R6実施事業の活動記録集作成	引き続き、「アーティスト・イン・レジデンスプログラム」および「ラーニングプログラム」の実施により、アートを活かした魅力ある地域づくりを推進する。

(5) 文化交流の推進

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①全国高等学校総合文化祭への活動支援 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:3,000 R7 当初:3,000	高等学校相互の交流を図るとともに、高等学校における合唱や美術工芸等の部活動の振興に資するため、全国高等学校総合文化祭に県代表校を派遣する。	第 47 回全国高等学校総合文化祭へ、次のとおり県代表校を派遣した。 ・開催期間:令和 5 年 7 月 29 日～8 月 4 日 ・開催地:鹿児島県 ・参加状況:規定 17 部門 延べ 65 校 351 人参加	次のとおり県代表校を派遣する。 ・開催期間:令和 6 年 7 月 31 日～8 月 5 日 ・開催地:岐阜県 ・派遣部門:総合開会式など 19 部門	引き続き、県代表校の派遣により、高等学校相互の交流や学校における文化芸術活動を推進する。
②国文祭への参加支援 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:- R76 当初:-	国文祭開催県から出演者(団体)募集があった際、県内市町村及び文化団体に情報提供するとともに出演者(団体)の推薦を行う。	ぎふ 2024 派遣団体(決定) ・水戸はつらつ健康マージャン会 ・茨城県かるた協会 等	ながさき 2025 派遣団体(募集中)	情報提供を行い、機運を醸成する。県内の文化団体に、国文祭への積極的な参加を呼びかける。
③語学指導等を行う外国青年招致事業 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R6決算:15,091 R7当初:17,790	外国から青年を招致し、学校や自治体に配置することで、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルの国際交流を推進する。	外国青年配置数:49 人(R7.3.31 時点) 【内訳】 茨城県:39 人(CIR 4 人、ALT 35 人) 市町村:6 人(CIR 2 人、ALT 4 人) 私立学校:4 人(ALT 4 人)	外国青年配置予定数:36 人 【内訳】 茨城県:27 人(CIR 3 人、ALT 24 人) 市町村:6 人(CIR 2 人、ALT 4 人) 私立学校:3 人(ALT 3 人)	引き続き、外国青年による外国語教育の充実及び地域レベルの国際交流を推進していく。

事業名	事業内容	R6 年度実績	R7 年度取組状況	今後の方針・方向性
④上海事務所事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R6決算:45,999 R7当初:51,450	近年拡大している中国の消費市場をターゲットとし、本県の観光需要の掘り起こしや県産品の販路拡大等につなげるため、国際文化交流を推進する。	観光地や特産品、伝統工芸品のPRを実施 ・第8回シルクロード国際博覧会 2024年9月20日～9月24日(西安市) ・茨城県対日投資セミナー 2024年10月15日(上海市) ・精密加工技術フォーラム 2024年10月16日(上海市) ・茨城県産松PRイベント 2024年11月14日(上海市) ・中国国際旅行交易会(CITM) 2024年11月22日～11月24日(上海市) ・中日文化交流イベント 2025年2月22日(江西省南昌市) ・上海ジャパンプランド 2025年3月15日～3月16日(上海市)	各種イベントや展示会への出展を通して本県の観光資源のPRや県産品の新規販路開拓などを一層推進していく。	中国全土で開催される見本市に積極的に出展し、本県の観光需要の掘り起こしや県産品の販路拡大等につなげるため、国際文化交流を推進する。
⑤国際交流協会運営費補助 (多様性社会推進課) 決算額等(千円) R6 決算:52,820 R7 当初:56,864	(公財)茨城県国際交流協会の運営に要する経費の一部補助を行う。	1 多言語による情報提供(11言語) 多言語サイトアクセス数:174,311件 2 外国人相談事業(11言語) 相談件数:976件 3 多文化共生サポーターバンクの運営 登録人数:1,096人 4 国際理解の推進 ワールドキャラバン講師等派遣回数:66回	1 ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業 2 外国人による日本語スピーチコンテスト 3 世界文化セミナー	協会が円滑な事業の実施と運営を行い民間における国際交流推進の中核組織としての機能を果たせるよう、運営費等を補助する。

【再掲】

・アーカスプロジェクト推進事業(地域振興課)

4 事業KPI

・県民文化センターの利用者数(単位:万人)★3 目標達成度【期待された成果があがっていない】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	40	60	60	60
実績値	13	34	34	27	
達成率	—	85.0%	56.7%	45.0%	

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・Ⅱ(1)②県民文化センター管理委託
- ・Ⅴ(3)①県民文化センター施設整備

・伝統文化団体への発表機会提供 (単位:団体)★4 目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	15	30	35	40
実績値	11	24	28	37	
達成率	—	160.0%	93.3%	105.7%	

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・Ⅰ(1)⑥ 茨城県子ども伝統文化フェスティバル
- ・Ⅱ(2)① 伝統文化総合支援事業

5 事業の評価

「県民文化センターの利用者数」は、令和6年度については、指定管理者の変更により、前年度からの誘客が十分にできなかったことなどの影響により大ホールの利用者が減少し、目標達成率は45.0%に留まった。指定管理者（県民文化センター運営共同事業体）においては、令和7年度は、さらなる利用促進に向けて、新日本フィルハーモニー交響楽団の佐渡 裕（指揮者）や、ウクライナ国立歌劇場オペラなどの目玉事業の実施等により誘客を図ることとしており、指定管理者と連携して、施設の利用促進に努め、更なる利用者の増加を図っていく。

また、「伝統文化団体への発表機会提供」については、県内のイベントへの出演機会の提供や、茨城県子ども伝統文化フェスティバルの開催により達成率は105.7%となり、目標達成度は「期待以上の成果」となった。

6 今後の展開・方向性

県民文化センターは、県内の文化活動団体による公演や展覧会など、日頃の文化活動の発表の場等として利用されており、今後も、本県の文化振興の拠点としての役割が期待されることから、引き続き、利用者数や利用率の増加を図るとともに、計画的に必要な修繕を実施していく。

伝統文化団体への発表機会提供については、集客力のある催事や外国人の参加が見込まれる催事の主催者に対して、県内の伝統文化団体の活動情報を提供することにより、催事出演を促進する。また、子どもたちの日頃の活動の成果を発表する「茨城県子ども伝統文化フェスティバル」を引き続き開催し、伝統文化団体に対して発表機会を提供する。

Ⅲ 文化的資産の活用

1 施策方向

地域の文化的資産を観光・産業振興や地域振興等に積極的に活用する。また、文化財の適切な保護・継承を図る。

2 課題

我が県の長い歴史の中で形成、伝承されてきた数多くの伝統的な文化財の適切な保存を進めていくことはもとより、これらの文化財を公開するなどして、文化財の活用を図っていくことが求められている。

また、良好な県土の景観を保全し、創造していくためには、公共の建物等の建築に当たり、周囲の自然景観や地域の歴史的及び文化的な特性に配慮する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化的資産の活用

【再掲】

・フィルムコミッション推進事業(観光誘客課)

(2) 文化財の保存等

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①文化財保護審議会 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:1,139 R7 当初:1,686	県教育委員会の諮問に応じて、 県指定文化財の指定など文化 財の保存及び活用に関する重 要事項を調査審議し、答申す る。	審議会の開催 4回 県指定候補物件調査 8回 県指定文化財の指定 1件 ・有形文化財(考古資料)「十五郎穴横 穴群出土品」(ひたちなか市)	審議会の開催 4回予定 県指定候補物件調査 数回検討中	文化財の種類全体(有形文化財、無形 文化財、民俗文化財、記念物)におい て、県内の価値ある文化財の情報の収 集・整理、調査審議を行い、新規の指定 を進めていく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
②文化財等整備費補助事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:44,961 R7 当初:53,922	国・県指定文化財の管理、修理、防災、保存及び公開等に対して補助を行う。 また、県所有文化財(美術工芸品)の保存修理を行う。	鹿島神宮本殿ほか6棟(鹿嶋市)外3件の国指定文化財及び木村家住宅(茨城町)外8件の県指定文化財の保存修理等に対して補助金を交付し、文化財の保護、整備及び調査を実施した。また、本県が所有する国指定重要文化財である一橋徳川家関係資料の保存修理を実施した。	鹿島神宮本殿ほか6棟(鹿嶋市)外5件の国指定重要文化財及び筑波山神社境内社厳島神社本殿(つくば市)外4件の県指定文化財の保存修理等に対して補助金を交付し、文化財の保護、整備及び調査を実施する。また、本県が所有する国指定重要文化財である一橋徳川家関係資料の保存修理を引き続き実施する。	国・県指定文化財の保存修理等の費用の一部を補助し、所有者の負担を軽減することで、県民共有の財産である文化財の適切な維持管理と活用の充実に図る。
③埋蔵文化財調査 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:10,004 R7 当初:11,520	埋蔵文化財の保存・管理、出土品を活用した展示・公開、体験学習を行うことにより、埋蔵文化財の保護と普及啓発を図る。	・利用者数:3,115 名 ・わくわく体験教室参加者数:110 名(年7回実施) ・出前授業:25件(小中学校13、他12)	・わくわく体験教室:2回実施(全7回予定) ・出前授業:2件(小中学校2) (いずれも6月17日現在) ※展示室等で解説資料や拡大写真のQRコードでの提供を導入し、来館者への情報提供手段の充実に図る。	「新たな日常」における郷土の文化発信拠点として、体験活動資料の動画配信やリモート出前授業などを行える環境整備を進めていく。

(3) 公共の建物等の建築に当たっての配慮

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①景観形成条例施行事務費 (都市計画課) 決算額等(千円) R6決算:669 R7当初:2,228	○大規模行為届出に係る審査事務 市町村、建築指導課、県民センター 建築指導課及び特定行政庁と連絡調整を行い、円滑な運用を図る。 ○条例等の運用 公共事業等景観形成指針を運用し、地域の歴史的・文化的特性に配慮した公共の建築物の建築・改修を促す。	大規模行為届出受理件数 44 件	大規模行為届出受理件数 (年度末に集計)	引き続き、大規模行為届出に係る審査事務や、公共事業等景観形成指針の適切な運用を図っていく。

4 事業K P I

設定なし

5 事業の評価

事業K P I を設定していないため数値による評価はできないが、国や県指定文化財等を保存・保護していくために必要な補助等の実施や、埋蔵文化財の保護と普及啓発に着実に取り組んでいる。

6 今後の展開・方向性

引き続き、文化財の保存や活用を進めていくことはもとより、文化的資産の再発見・再認識を通して、地域の魅力を引き出し、市町村等とも連携しながら、観光振興や地域振興に活かしていく。

Ⅳ 文化活動の充実

1 施策の方向

多様な人々が身近な場所で、様々な文化に触れ親しみ、鑑賞し、参加し、創造することができる環境づくりを図る。

2 課題

青少年や子育て中の保護者、高齢者や障害者、外国人など、より多くの県民が文化についての関心を高め、幅広く文化活動に触れられる機会を提供する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 県民の文化活動の充実

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①茨城県文化振興条例及び計画の周知 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:— R7 当初:—	県民がより一層文化についての関心を高め、理解を深めることができるよう文化に対する意識の醸成を図る。	1 茨城県文化振興条例及び計画の進行管理に係る審議会の情報等:県ホームページ掲載等により、周知を図った。 2 文化振興事業等:ホームページ「いばらき文化情報ネット」への掲載等により周知を図った。	引き続き、県ホームページ等において、茨城県文化振興条例及び計画に基づく文化振興事業等の情報発信及び周知を図っていく。	引き続き、県ホームページ等において、茨城県文化振興条例及び計画に基づく文化振興事業等の情報発信及び周知を図っていく。
②いばらき文化振興財団運営費補助 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:35,724 R7 当初:38,531	県民の文化振興の担い手として大きな役割を果たしている文化振興財団の育成を図る。	文化振興財団の運営に要する経費を補助。 ・R6 年度実績額:35,724 千円	文化振興財団が県の文化行政の一翼を担う役割を果たしていることから、引き続き、運営に要する経費を補助していく。	文化振興財団が県の文化行政の一翼を担う役割を果たしていることから、引き続き、運営に要する経費を補助していく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
③つくば美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:494 R7 当初:495	県民の美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 貸ギャラリー展の実施 44 団体・個人が展覧会を開催した。 2 美術講演会・講座等の開催 土曜講座(美術講座)、美術講演会、美術実技講座、ワークショップ、ビデオ鑑賞会	1 貸ギャラリー展の実施 39 団体・個人が展覧会を開催予定 2 美術講演会・講座等の開催 土曜講座(美術講座)、美術講演会、美術実技講座、ワークショップ、ビデオ鑑賞会	現在の普及活動を継続して実施する。
④現代茨城作家美術展★5 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:0 R7 当初:5,000	県民の文化活動の充実を図るため、本県を代表する作家の優れた美術作品を展示することにより、多くの県民に文化芸術を鑑賞する機会を提供する。	(隔年開催のため実施せず)	第 14 回現美展 期間:1 月 10 日～2 月 1 日 場所:県近代美術館 部門:日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書、写真、デザイン(7部門 84 点)	茨城県芸術祭美術展覧会 60 周年記念事業として、例年の現美展とは異なる、内容を前面に出し、美術展覧会と協働して、SNS などを活用した広報を実施していく。
⑤移動展覧会★6 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:6,659 R7 当初:6,855	県内各地で広く県民が優れた美術を鑑賞できる機会を提供するとともに、本県の芸術家の作品発表の場を提供するため、茨城県美術展覧会所属作家から選抜された作品などを展示する移動展覧会を開催する。	1 茨城県つくば美術館 期間:7 月 9 日～7 月 21 日 12 日間 入場者数:1,696 名 2 しもだて美術館 期間:12 月 7 日～12 月 22 日 14 日間 入場者数:663 名 3 茨城県陶芸美術館 期間:2 月 22 日～3 月 9 日 14 日間 入場者数:1,517 名 ※ギャラリートークの様子を録画編集のうえ YouTube 等に投稿した。	1 茨城県つくば美術館 期間 7 月 8 日～7 月 21 日 13 日間 2 日立シビックセンター 期間 9 月 20 日～9 月 28 日 9 日間 3 茨城県陶芸美術館 期間 2 月 21 日～3 月 8 日 14 日間	引き続き県民が本県芸術家の作品を鑑賞できる機会を提供する本展を継続するとともに、会期中に実施しているギャラリートークについて、会場に来られない方でも楽しむことができる動画投稿形式での実施を行っていく。

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)

(2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①高齢者自身の取組み支援事業 (長寿福祉課) 決算額等(千円) R6 決算:13,017 R7 当初:14,531	高齢者が活躍できる社会を目指し、高齢者のスポーツ・健康づくり・地域活動等を推進するため、茨城県健康福祉祭の開催やニューススポーツの推進を行う。	1 ニューススポーツの推進 ・ニューススポーツ推進員養成講習会の開催 参加者:29 名 ・ニューススポーツ体験教室の開催 参加者:101 名 2 第 28 回茨城県健康福祉祭の開催 ・いばらきねりんスポーツ(交流)大会 参加者:約 1,100 名 ・全国健康福祉祭(ねりんピックはばたけ鳥取 2024) 選手等派遣者数:128 名 ・「わくわく美術展」実施 出品申込数:392 点、入場者数:1,301 名 ・「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」実施 応募総数:695 点	1 ニューススポーツ・eスポーツの推進 ・ニューススポーツ推進員養成講習会の開催 ・ニューススポーツ体験教室の開催 ・eスポーツ体験会の実施 ・eスポーツフォローアップ研修の実施 2 全国健康福祉祭「ねりんピック岐阜 2025」への選手団派遣 10 月下旬開催 約 150 名派遣予定 3 第 30 回茨城県健康福祉祭の開催 ・いばらきねりんスポーツ交流大会 令和 7 年4月～令和 8 年 3 月 ・いばらきねりんスポーツ中央大会 10 月開催予定 ・「わくわく美術展」の実施 ・「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」の実施	昨年度に引き続き、オンラインの活用や、よりニーズの高い事業への見直し等について、検討を行っていく。
②元気シニア地域貢献事業 (長寿福祉課) 決算額等(千円) R6 決算:3,364 R7 当初:3,848	高齢者が培ってきた豊富な知識・経験・技術・ノウハウを地域社会に還元するための人材バンク(元気シニアバンク)を創設し、登録のある高齢者が広く活躍できる場となっている。	1 元気シニアバンク登録累計件数 (R7.3 末時点) 275 件(個人:131 件、団体:144 件) 2 バンク利用状況 ・紹介申込件数:206 件 ・新聞広告掲載:2 紙 (読売新聞、茨城新聞)	1 元気シニアバンク登録者数 県民センターおよび県立図書館等、各関係機関への広報の実施に加え、新聞広告掲載や老人クラブ研修会における事業の紹介により登録件数の増加を図る。 2 バンク利用状況 市町村放課後児童クラブ担当課や、市町村教育委員会を經由して各学校への広報を実施することにより紹介申込件数の増加を図る。	地域コミュニティの希薄化で、高齢者の閉じこもり増が懸念されることから、地域と高齢者との一層のつながりを生み出し、高齢者の地域貢献を推進する。シニアバンク利用者と高齢者双方にメリットが生まれる場を積極的に提供していく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
③障害者週間推進事業 (障害福祉課) 決算額等(千円) R6決算:1,887 R7当初:1,978	障害児者による音楽・ダンス・演劇等の発表や美術作品の展示等の文化活動を通じ、障害児者と地域社会の交流を深め、障害児者の社会参加促進を図る。	ナイスハートふれあいフェスティバル 2024 1 期日: 12 月 5 日～12 月 9 日 2 発表会: 12 月 7 日 ・参加者 8 団体 79 名 3 美術展:12 月5日～12 月9日 ・作品数 459 点(制作者 875 名)	ナイスハートふれあいフェスティバル 2025 1 期日:12 月4日～12 月8日 2 発表会:12 月6日 ・参加者 10 団体 100 名(見込み) 3 美術展: 12 月 4 日～12 月8日 ・作品数 400 点(制作者 800 名)(見込み)	引き続き、障害児者による音楽・ダンス・演劇等の発表や美術作品の展示等の文化活動を通じ、障害児者の社会参加促進を図る。一般の来場者数増加に努める。
④パラアーティスト発掘・育成等事業(障害福祉課) 決算額等(千円) R6決算:- (R7 新規のため) R7 当初:5,000	アートの才能・実力がある人を発掘し、才能・技術を磨く機会や展示の機会を提供して知名度を上げ、スターを生み出すことで、他の大勢の障害者へ夢を与え、日中作業への意欲や自立への意欲の底上げを図るとともに、作品を見てもらう、認知される、経済的な対価を得るといった生きがいを創出する。 ※パラアーティスト:障害がある人が作った芸術作品を指すパラアートを基に、パラアートの創作を主な活動として収入を得ている人と定義(本県独自)	(R7 新規事業のため実績なし)	1 アーティストの育成 東京藝術大学や筑波大学とのワークショップ(年 3 回)の開催による技術向上を図る。 2 作品展示機会の拡大 ショッピングセンターやギャラリーなどでの個展の開催、オンラインでの展示を行う。 3 企業との連携 民間企業の商品パッケージなどのコラボレーションに向けた勉強会(年 2 回)やデザイナー派遣を実施する。	ナイスハート美術展の出展作品などにおいて、素晴らしい作品があるが、展示の場がなく、話題の広がりが限定的であり、才能や技術を磨く経験を積む場も限定的である。アートに関する知識・経験がない施設もあり、才能が埋もれてしまっている可能性があるため、本事業により発掘・育成等へ取り組んでいく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤ナイスハートふれあいフェスティバル(学校教育の部) (特別支援教育課) 決算額等(千円) R6決算:910 R7当初:1,692	特別支援学校、小・中学校等の特別支援学級や通級指導教室に通う幼児児童生徒が日頃の学習成果の発表をとおして学習活動や社会参加への意欲を高めるとともに、特別支援教育に対する県民の理解と認識を深める。	1 期 日:12月5日～12月9日 2 発表会:休止 ※発表会への参加希望団体が実施規定数に満たなかったため学習発表会を休止。 3 美術展:12月5日～12月9日 ・作品数:3,987 点 ・見学者数:3,353 名	1 期 日:12月4日～12月8日 2 発表会:休止 ※発表会への参加希望団体が実施規定数に満たなかったため学習発表会を休止。 3 美術展:12月4日～12月8日 ・作品数:4,000 点(見込み) ・見学者数:4,000 名(見込み)	特別支援学校、小・中学校等の特別支援学級や通級指導教室に通う幼児児童生徒の学習活動や社会参加への意欲を高め、また特別支援教育に対する県民の理解と認識を深めるため、発表会及び美術展を実施する。参加希望状況等によっては、内容を変更して実施する場合もある。

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)

(3) 青少年の文化活動の充実

【再掲】

- ・茨城県小中学校芸術祭開催(文化課)
- ・茨城県高等学校総合文化祭開催(文化課)

4 事業 KPI

- ・現代茨城作家美術展の入場者数(単位:人) ★5 目標達成度【概ね期待通りの成果】

	2019(基準) R1	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	—	8,800	—	10,000
実績値	8,276	—	8,515	—	
達成率	—	—	96.8%	—	

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・IV(1)④現代茨城作家美術展

・移動展覧会の参加者数(単位:人) ★6

目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6(R7.6.30時点)	2025(目標) R7
目標値	—	4,000	5,000	5,500	6,000
実績値	3,198	4,821	7,733	10,649	
達成率	—	120.5%	154.7%	193.6%	

【事業 KPI を構成する関連事業】

・IV(1)⑤ 移動展覧会

(再掲)・関連事業の参加者数(単位:人) ★2

目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	11,000	13,000	13,000	13,000
実績値	9,574	14,888	13,799	21,794	
達成率	—	135.3%	106.1%	167.6%	

【事業 KPI を構成する関連事業】

・I(1)② 水戸室内管弦楽団メンバーによる器楽セミナー

・I(1)③ 文化芸術体験出前講座

5 事業の評価

移動展覧会の参加者数（ギャラリートークの YouTube 配信閲覧数を含む）については、193.6%と期待以上の成果を達成した。年間3回実施するギャラリートークの様子を動画で撮影し、YouTube やいばキラ TV に投稿することで、来場者以外もギャラリートークを聞くことができ、より幅広い県民に対して、美術を鑑賞する機会の提供に努めた。

6 今後の展開・方向性

文化施設や学校、芸術系教育機関のほか、高齢者団体、障害者団体、国際交流団体などの多様な主体を所管する関連団体とも連携しながら、高齢者や障害者、青少年など、県民誰もが一人ひとりが幅広く文化芸術活動を身近に感じ、触れ、親しむ機会を提供していく。

V 文化活動の支援体制の充実等

1 施策の方向

多様な主体と連携し、文化振興施策の総合的な推進を図る。また、文化情報の効果的な発信や文化施設の機能の充実、地域の文化活動の支援等を図る。

2 課題

県から発信する情報がより多くの県民等に届くよう発信方法を工夫する必要がある。

文化施設については、適切な維持・保全を基本とし、老朽化対策を進めながら、文化情報発信の拠点としての機能を高めていく必要がある。

また、文化や芸術の専門家や市町村の意見を踏まえながら、文化団体等への適切な支援を行っていく必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化情報の収集及び提供

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①いばらき文化情報ネット整備 事業★7 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:284 R7 当初:484	市町村や県内文化施設と連携し、県内各地の音楽・演劇・伝統芸能・美術・祭り等の文化催事情報等をホームページ上で公開し、県民のニーズの多様化に対応したリアルタイムの情報提供を行う。	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち 等 2 主な更新内容 文化イベント情報、お知らせ:163 件 3 アクセス件数 ページビュー数:273,894 セッション数:135,192 ※その他以下媒体を活用して情報発信 ・X(旧:Twitter) :335 件 ・県広報誌ひばり : 2 件 ・YouTube、いばキラ TV、Yahoo!くらし、ラジオ県だより、デジタルサイネージ :46 件	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち 等 2 主な更新内容(R7.6 月末現在) 文化イベント情報、お知らせ:49 件 3 アクセス件数(R7.6 月末現在) ページビュー数:50,361 セッション数:24,701	「いばらきの伝統文化」ページに掲載している動画をスマートフォンでも閲覧できるよう改良するなどして、見やすく使いやすいホームページを目指している。より一層活用されるよう、コンテンツを充実させてゆく。茨城の文化や郷土の魅力を伝える記事を掲載する。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
②県政情報紙発行費(「ひばり」)(営業企画課) 決算額等(千円) R6 決算:152,711 R7 当初:165,341	県政に対する理解を深め、協力していただけるよう、県政の重要課題に対する県の考え方や施策に関する情報、県民の利便性を高める生活・地域情報等を掲載した県広報紙「ひばり」を作成、配布する。	12 回／年 A4判全頁カラー印刷 770,000 部／回(5 月号～8 月号) 750,000 部／回(9 月号～4 月号) ※X、LINE等の SNS でも配信	12 回／年 A4判全頁カラー印刷 740,000 部／回 ※X、LINE等の SNS でも配信	引き続き、紙媒体や SNS 等を通じ、県政情報の発信を行っていく。
③ラジオ広報(県だより等)(営業企画課) 決算額等(千円) R6 決算:25,118 R7 当初:25,895	茨城県全域をほぼカバーする民放ラジオ局 LuckyFM やコミュニティFM を媒体とし、県民の県政に対する理解を深めるため、県政の諸施策や催事案内について繰り返し情報提供する。	「ラジオ県だより」(5 分間) 768 回／年 「県政スポット」(20 秒CM) 768 回／年 ※上記回数は文化情報以外も含む。	LuckyFM「ラジオ県だより」(5 分間) 768 回／年 LuckyFM「県政スポット」(20 秒CM) 768 回／年 コミュニティFM(6局) 24 回／年(1局あたり) ※上記回数は文化情報以外も含む。	引き続き、ラジオを活用し、県政情報の発信を行っていく。
④政策広報(新聞広報等)(営業企画課) 決算額等(千円) R6 決算:39,206 R7 当初:36,994	緊急または広く県民に周知を必要とする事項について、新聞に掲載を行うとともに、県内のケーブルテレビを活用して、県民に身近な事業・施策等を紹介する番組を制作・放送する。	・「茨城県からのお知らせ」 掲載紙:中央紙 6 紙及び茨城新聞 8 回／年 ・ケーブルテレビ(CATV・10 分間) 放送局:県内ケーブルテレビ 5 社 6 局 8テーマ／年、毎週土・日放送 ※上記回数は文化情報以外も含む。	・新聞広告「茨城県からのお知らせ」 掲載紙:中央紙6紙及び茨城新聞 8 回／年 ・ケーブルテレビ(CATV・10 分間) 放送局:県内ケーブルテレビ 5 社 6 局 7テーマ／年、毎週土・日放送 ※上記回数は文化情報以外も含む。	引き続き、新聞やケーブルテレビを活用し、県政情報の発信を行っていく。
⑤県政キャンペーン広報(営業企画課) 決算額等(千円) R6 決算:1,892 R7 当初:1,892	県政の重要広報事項について、広く県民に周知するため、地域に密着した地方紙の紙面を利用して、テーマ別のキャンペーンを新聞に掲載する。	・「県政の焦点」シリーズ 茨城新聞:全 2 段×14 回 ・「県政キャンペーン」 茨城新聞:全 7.5 段×2 回 計全 43 段 ※上記回数は文化情報以外も含む。	・「県政の焦点」シリーズ 茨城新聞:全 2 段×14 回 ・「県政キャンペーン」 茨城新聞:全 7.5 段×2 回 計全 43 段 ※上記回数は文化情報以外も含む。	引き続き、新聞を活用し、県政情報の発信を行っていく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
⑥インターネット情報発信事業 (営業企画課) 決算額等(千円) R6 決算:46,033 R7 当初:12,066	県民生活に必要な県政情報、各種事業・施策などの情報について、県ホームページや SNS で速やかに情報発信を行う。	県政ホットニュース、イベント、募集・採用情報、その他のお知らせ、報道発表事項などを掲載 ＜アクセス件数(R7.1 末時点)＞ トップページ :3,680,454 件 サイト全体 :49,133,607 件	防災情報、注目情報、新着情報、募集・採用情報、報道発表事項、ナビゲーションメニュー(分野別・目的別)などを掲載	引き続き、インターネットを活用し、県政情報の発信を行っていく。
⑦いばらきインターネットテレビ事業 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R6 決算:145,800 R7 当初:141,565	本県の魅力などを紹介する動画を制作し、インターネット上で国内外に広く発信する。	オンデマンド動画制作:388 本 年間視聴回数:58,097,009 回	オンデマンド動画の制作(400 本/年)	引き続き、動画制作を通じて本県の魅力発信を行うことで、観光誘客や県産品の販売促進を図る。
⑧VTuber 活用魅力発信強化事業 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R6 決算:- R7 当初:102,300 ※R7 年度新規事業	発信力の高い VTuber(バーチャル YouTuber)グループと連携し、本県の地域資源の魅力を紹介する動画配信や SNS を活用した情報発信のほか、観光地等における動画と連動した誘客促進企画などに取り組む。	—	・動画の制作・発信(10 回程度/年) ・誘客促進企画(3 回/年) ・全国的イベントにおける PR	動画の制作・発信を核として、観光スポットや店舗との連動企画、イベントによる PR などの各種仕掛けを1年間切れ目なく展開し、いばらきインターネットテレビ事業とも連携を図りながら、若者の実際の行動変容に結び付けていく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
⑨メディア活用魅力発信強化事業 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R6 決算:22,585 R7 当初:22,585	首都圏や茨城空港就航先などのテレビ等のメディアを活用して茨城の観光地や特産品などの情報を発信する。	1 首都圏メディア ・在京キー局を中心としたテレビ番組での本県情報の露出拡大を図った。 ・報道件数:テレビ番組5件 2 茨城空港就航先等 ・茨城空港就航先である神戸・札幌エリア所在メディアを中心とした本県情報の露出拡大を図った。 ・報道件数:7件 うちTV:5件	1 首都圏メディア ・旬の観光情報や県産品について、在京キー局を中心に情報提供・制作協力等を行うことで、テレビ番組での露出を図る。 2 茨城空港就航先等 ・茨城空港就航先である神戸・札幌・福岡・沖縄エリアなどのメディアへの情報提供・制作協力を実施することにより、テレビ番組での露出を図る。	引き続き、各メディアへの情報提供・制作協力等の働きかけを行い、メディアでの露出拡大を図ることにより、県の観光情報や県産品等の魅力を発信していく。
⑩パブリシティ活動強化事業 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R6 決算:56,348 R7 当初:62,677	各種メディアの番組制作やテーマ設定に関わるメディア関係者との関係を構築するとともに、ニュースリリース等を行い、各種メディアへの効率的・効果的なパブリシティ活動を展開する。	PR会社等に委託し、パブリシティに関する県内情報リサーチ、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施した。 報道件数:3,704件(うちTV:126件) 広告換算額:約180億円 メディアコンタクト数:450件 取材誘致件数:114件	・PR会社等に委託し、パブリシティに関する県内情報リサーチ、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施。 ・関係部局と連携し、首都圏を中心に、各種メディアへの県職員による情報提供や訪問による働き掛けを実施。	引き続き、県内情報のリサーチ、対メディア戦略の立案、プレスリリース等による取材誘致を行うとともに、県内の企業・産業などの新たな切り口による露出開拓に取り組むなど、メディア向けパブリシティ活動を強化することにより、県の魅力を発信していく。

(2) 推進体制の整備

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①文化審議会開催費 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:396 R7 当初:1,017	茨城県文化振興条例に規定する事項等文化振興に関し必要と認める事項について調査・審議する。	文化審議会の開催 ・年3回開催 ・議題:茨城県文化振興計画に基づく取組 状況報告 等	文化振興計画を推進するため、文化振興施策の実績等を文化審議会に報告し、事業の評価を行うとともに、今後の施策展開の参考とするため意見交換を行う。 ・年4回開催予定	—
②文化行政推進費(文化団体育成補助金) (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:4,394 R7 当初:4,224	県域文化活動団体が実施する講習会や研修事業等の経費を助成し、組織の強化と活性化を図る。	文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 3,970 千円 ・茨城県ユネスコ連絡協議会 424 千円	文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 4,000 千円 ・茨城県ユネスコ連絡協議会 224 千円	引き続き県域で活動する文化団体に対し公演等文化事業に要する経費を補助し、昨今の物価高騰の状況下においても活動が継続できるよう努める。

【再掲】

・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)

(3) 文化施設の機能の充実

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①県民文化センター施設整備 (生活文化課)★3 決算額等(千円) R6 決算:57,968 (繰越:103,944) R7 当初:125,791	老朽化した施設・設備の改修や、施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	次のとおり工事を行った。 ・小ホール・展示室系統空調設備改修工事 ・上記空調設備動力盤改修工事 ・上記工事設計・監理業務委託 ・展示棟エレベーター改修工事設計委託 等 また、備品(移動用音響操作卓、移動用照明操作卓、展示館棟 AED、展示館棟デジタルサイネージ)を購入した。	次のとおり工事を行っているところ。 ・展示棟エレベーター改修工事 ・分館給水管設備改修工事 ・分館給水管設備改修工事監理委託 また、備品(大ホール AED やプロジェクター等)の購入を予定している。	県民文化センターは開館から 50 年以上が経過し、様々な設備の老朽化が進行していることから、必要な備品整備や施設改修等について優先順位を付け、計画的に進める必要がある。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
②アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備等★8 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:243,766 R7 当初:321,449	老朽化した施設・設備の改修や、施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	次のとおり工事を行った。 ・ウッドデッキ更新工事 ・ブラインチラー2 号機更新工事 ・イルカショープール空調設備更新工事 ・高圧受変電室空調設備更新工事 ・屋上防水改修工事(第2期) ・熱交換器更新工事(第1期) ・ろ過装置ろ材交換工事 ・空調中央監視装置更新工事 ・ウッドデッキ更新工事設計委託・監理委託 ・ブラインチラーNo.1,3 改修工事实施設計委託	次のとおり工事を行っているところ。 ・ブラインチラーNo.1,3 改修工事 ・屋上防水改修(第3期)工事 ・外壁タイル改修工事 ・直流電源装置蓄電池更新工事 ・熱交換器更新(第2期)工事 ・上水受水槽改修工事 ・ブラインチラーNo.1,3 改修工事監理委託	施設の長寿命化を図り将来負担を軽減するとともに、さらなる魅力の向上により誘客促進につながるような施設改修等を進める。
③文化施設整備 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:275,716 R7 当初:315,511	美術館・博物館の施設を安全かつ良好な環境に保つため必要な修繕等を実施する。	・五浦美術館空調調和機分解修理工事 ・自然博物館電気室高圧機器更新工事 ・陶芸美術館照明改修工事	・五浦美術館空調自動制御装置更新工事 ・自然博物館電気室高圧機器更新工事	老朽化した施設の改修等を随時行い、適切な施設管理に努めていく。
④近代美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:7,622 R7 当初:17,616 (R7 より美術資料取得基金管理運営費を統合)	優れた美術作品を収集するとともに、所蔵品の修復・保存等を行う。	・寄贈および管理換により作品を新規収蔵 ・所蔵品の修復・燻蒸、展示室・収蔵庫等の環境調査の実施による作品保全に適した環境維持	・購入および寄贈、管理換による作品収蔵 ・所蔵品の修復、作品燻蒸 ・展示室・収蔵庫等の環境調査、クリーニング ・作品保全に適した環境維持	作品の収集活動や、修復・燻蒸等による作品保全等を、今後も継続して行っていく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤天心記念五浦美術館展示事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:37,505 R7 当初:43,215	岡倉天心記念室 岡倉天心の業績を遺品、書簡、写真パネルによって紹介するとともに、大観ら五浦の作家たちの作品や資料を紹介 ・企画展の開催	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品の中から五浦の作家たちの日本画を中心に7期に分けて展示した。 2 企画展の開催 ・「かいけつゾロリ大冒険展」 外6件 ・入館者数 69,166 人	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品の中から五浦の作家たちの日本画を中心に7期に分けて展示予定。 2 企画展の開催 ・「奥原晴湖と近代の南画」 外6件	・隣県報道機関への広報活動の充実と県外来館者の誘致を図る。 ・日本画を中心にしつつも、異なるジャンルの日本美術の紹介を行い、幅広い層へ訴求していく。 ・明治から昭和にかけて活躍した日本画家に加え、現在進行形の美術を紹介していく。
⑥自然博物館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:21,014 R7 当初:26,022	7つのテーマにより常設展を開催する。	「進化する宇宙」など7つのテーマによる常設展の適切な開催を行うため、常設展示保守点検、修繕、展示更新、展示更新設計等を行った。	今後も魅力ある博物館であるため、常設展の展示において計画を立て、実施する。	・展示室ごとに展示計画を検討・作成する。 ・蛍光灯の生産終了までに、すべての蛍光灯のLED化を進める。 ・安全性に配慮した改修を実施する。
⑦自然博物館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:99,564 R7 当初:98,951	4回の企画展を開催する。 (※R6年度は30周年記念企画展を通常の2会期分行うため、3回の開催)	1 内容 「ミュージアムパーク30年のありっただけーいつも茨城県自然博物館はおもしろい！ー」 外2件 2 入館者数 479,671 人	1 内容 「恐竜とともに生きた生物たちーぼくらは脇役じゃないー」 外3件	・多くの入場者が期待できそうな企画展、親子で楽しめる企画展、所蔵品を活用した企画展、調査研究の成果を発表する企画展等、予算のバランスを鑑みつつ、バラエティに富む内容の企画展を計画していく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
⑧自然博物館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:14,989 R7 当初:19,495 (R7 から学術調査費を統合)	動物、植物、地学分 野の展示用又は研究 用資料の購入による 収集と、調査研究活 動や寄贈資料受け入 れによる収集によって 博物館資料の充実を 図る。	合計 22,474 点の資料を収集した。	・県内の自然や学術的に貴重な資料を中心に 収集を行う。 ・収蔵資料の増加に伴う収蔵庫の狭隘化対策 として、既設の野外管理棟を収蔵倉庫として整 備中である。	学術的に貴重なコレクション等の中 心に受け入れを行う。当館で受け入 れができない資料については、資料 は人類共通の遺産との視点に立ち、 標本セーフティーネット等を利用し て、他の保管場所や活用方法を探 る。
⑨歴史館普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:10,489 R7 当初:12,507	各種講座や教室、展 覧会での展示解説な どの普及事業を実施 し、歴史に親しんでも らうとともに、利用促 進を図る。	1 各種講座・教室等の開催、展示解説の実施等 展示解説及び講演会、講座など歴史に興味を持 ってもらった活動を実施した。 2 歴史館まつり、歴史館いちょうまつり等の開催 まつりを通して歴史館の広報活動を行うことがで きた。 3 利用者数 132,431人	1 各種講座・教室等の開催、展示解説の実施 等 展示解説及び講演会、講座など歴史に興 味を持ってもらう活動を実施予定。 2 歴史館まつり、歴史館いちょうまつり等の開 催 企業、県各課の展示コーナーの設置、 ライトアップなど。	来館できない事情の方にも応えられ るよう、展示内容の紹介や歴史館ま つり等のイベント内容について動画 を配信するほか、展示に関するミニ 知識を X(旧ツイッター)、インスタグ ラムで随時紹介する等、SNSを積極 的かつ効果的に活用した情報発信 を行っていく。
⑩歴史館展示事業 (文化課) 決算額等(千円) R6 決算:60,671 R7 当初:39,308	・「茨城の歴史をさぐ る」をテーマに、茨城 の原始古代から近現 代までの歴史を概観 できる常設展示を開 催する。 ・特別展、企画展を開 催する。	1 特別展・企画展 「名品、ゾクゾク ー歴史館の半世紀ー」 外5件 2 入館者数 86,089 人	1 特別展・企画展 「サンリオ展ー日本のカワイイ文化の歴史 ー」 外5件	・体験型展示を開発していく。 ・SNSを積極的かつ効果的に活用し た情報発信を行っていく。

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
⑪まちづくり推進費 (都市計画課) 決算額等(千円) R6決算:1,588 R7当初:1,496	1 まちづくりシンポジウム 開催地の実情や社会情勢に応じたテーマに基づき、講演やパネルディスカッション等を行う。 2 市町村のまちづくり支援 官民連携スキルや民間団体育成ノウハウの習得等を目的として、市町村職員の資質向上を図る。	1 まちづくりシンポジウム 令和7年1月21日開催 2 市町村のまちづくり支援 都市計画セミナー、先進地視察を実施	1 まちづくりシンポジウム 令和7年11月21日開催予定 2 市町村のまちづくり支援 都市計画セミナー、先進地視察を実施予定	県民等にまちづくりについての情報を提供し、意識啓発を図るとともに、まちづくりへの積極的な参加を促していく。
⑫文化施設の連携体制の強化 (生活文化課・文化課) 決算額等(千円) R6 決算:- R7 当初:-	関東甲信越静ブロック文化・文化財行政 主管課長協議会を共同で開催、又は他県等で開催した際に参加することにより、文化財行政及び文化行政の連携を深める。	書面開催 (持ち回りにより事務局は新潟県)	持ち回りにより、山梨県において当該会議を開催予定。	—

【再掲】

- ・県民文化センター管理委託(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・近代美術館常設展(文化課)
- ・近代美術館企画展(文化課)
- ・つくば美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館常設展(文化課)
- ・陶芸美術館企画展(文化課)
- ・陶芸美術館資料整備(文化課)
- ・自然博物館教育普及事業(文化課)

(4) 地域における文化活動の支援

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①地域創造の助成事業 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算:- R7 当初:-	(一財)地域創造より募集のあった助成金について、県内市町村等に情報提供するとともに、とりまとめを行い、申請を行う。	(1)地域の文化・芸術活動助成事業 採択4件:(公財)水戸市芸術振興財団 (公財)取手市文化事業団 他 (2)地域伝統芸能等保存事業 申請なし	(1)地域の文化・芸術活動助成事業 採択5件:(公財)いばらき文化振興財団 (公財)水戸市芸術振興財団 他 (2)地域伝統芸能等保存事業 申請なし	—

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・各文化活動への後援(生活文化課)
- ・文化行政推進費(生活文化課)
- ・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)

(5) 財政上の措置

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①文化振興基金積立金 (生活文化課) 決算額等(千円) R6 決算: 735 R7 当初: 4,383	文化振興を図るため、安定した財源を確保し、文化振興を推進する。	R6 運用益(受取利息) 735 千円 ・運用益及び基金の取崩しを伝統文化総合支援事業に活用	伝統文化総合支援事業に基金を充当	—

(6) 顕彰

事業名	事業内容	R6年度実績	R7年度取組状況	今後の方針・方向性
①ほう賞事務取扱費 (秘書課) 決算額等(千円) R6 決算:405 R7 当初:560	茨城県知事褒賞事務取扱 要領に基づき、表彰状、 賞状、感謝状、褒状等の 交付を行う。	・表彰状: 591 枚 ・賞 状: 911 枚 ・感謝状: 945 枚 ・褒 状: 28 枚	・表彰状: 12 枚 ・賞 状: 54 枚 ・感謝状: 72 枚 ・褒 状: 7 枚 ※令和7年5月31日現在	・スポーツ大会等の中止により、賞状申請件数が 減少していたが、コロナ禍以前の申請件数に戻り つつあるため、審査や筆耕の体制を維持する。
②県功績者表彰費 (秘書課) 決算額等(千円) R6 決算:4,695 R7 当初:4,377	・茨城県表彰規則に基づ き、県の名声を高めるとと もに、広く県民から敬愛さ れ、社会に明るい希望を 与えた方及び社会の進歩 発展に著しい功労・功績 のあった方等を表彰する。	・期日:令和6年11月13日 ・表彰対象者63人、12団体 県民栄誉賞表彰3人 特別功績者表彰1人 特別功労賞表彰11人 功績者表彰32人・9団体 知事奨励賞表彰10人 新しいいばらきづくり表彰6人・3団体	・期日:令和7年11月13日頃(調整中) ・10月上旬の受賞者決定を目指して、候 補者選考を進める。	・スポーツや文化芸術の活動がコロナ禍前と大差 なく行われるようになり、優れた功労者の発掘がし やすくなった一方で、賞区分によっては表彰分野 が偏ったり、候補者の発掘に苦慮する状況もある ため、各分野から幅広く情報収集を行い、幅広い 分野・年代の候補者の発掘に努める。

4 事業KPI

・各種媒体を通じた文化情報の発信件数(単位:件)★7 目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	290	360	430	500
実績値	212	291	478	546	
達成率	—	100.3%	132.8%	126.9%	

【事業 KPI を構成する関連事業】

・V(1)① いばらき文化情報ネット整備事業

・(再掲) 県民文化センターの利用者数★3 目標達成度【期待した成果を下回っている】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	40	60	60	60
実績値	13	34	34	27	
達成率	—	85.0%	56.7%	45.0%	

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・Ⅱ(1)②県民文化センター管理委託
- ・Ⅴ(3)①県民文化センター施設整備

・アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数(単位:万人)★8 目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	110	120	120	120
実績値	65	120	121	126	
達成率	—	109.1%	100.8%	105.0%	

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・Ⅴ(3)② アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備等

5 事業の評価

「各種媒体を通じた文化情報の発信件数」については、ホームページや X (旧 Twitter)、県広報誌、YouTube、いばキラ TV 等を活用して年間 546 件の文化情報を発信したことにより、目標達成度は「期待以上の成果」となった。

アクアワールド茨城県大洗水族館については、「展示」「普及」「研究」の 3 つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして効果的かつ円滑な展示と運営に努めた。令和 6 年度は、首都圏における認知度向上のための大規模プロモーションの実施や初の試みであるインフルエンサー投稿を活用した SNS の発信、人気キャラクターとのコラボ事業等の効果により、総入場者数は 126 万人と歴代 2 位の記録となり、令和 4 年度から 3 年連続で 120 万人台を維持する結果となった。

6 今後の展開・方向性

ホームページやSNSなどの媒体を活用して情報発信を行い、文化芸術に対する県民の意識醸成を図っていく。

また、県立文化施設については、施設の利便性向上や老朽化対策を行い、適切な維持管理に努めるとともに、引き続き利用者に安全・安心で快適な空間を提供していく。県民文化センターについては、指定管理者である県民文化センター運営共同事業体とともに、施設の利用促進に努め、更なる利用者の増加を図る。大洗水族館については、サメの飼育種類数日本一を誇り、世界初となる絶滅危惧種「シロワニ」の3期連続の繁殖を成し遂げたナンバー1かつオンリー1の水族館として確立するとともに、大々的な首都圏向けPRにより向上した認知度・機運を活かし、県内に限らず、県外の多くの方からも愛され親しまれる施設運営と事業展開に努める。